

# Mt. Gaitakamori in Iwate Prefecture, Japan: A new locality for *Tsuga diversifolia* (Maxim.) Mast.

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-09-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.24517/00055404">https://doi.org/10.24517/00055404</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



金子岳夫<sup>1</sup>・松本一穂<sup>2</sup>：コメツガを岩手県害鷹森で発見Takeo Kaneko<sup>1</sup> and Kazuho Matsumoto<sup>2</sup> : Mt. Gaitakamori in Iwate Prefecture, Japan—A new locality for *Tsuga diversifolia* (Maxim.) Mast.

青森，岩手，宮城県にまたがる北上山地において，コメツガ *Tsuga diversifolia* (Maxim.) Mast. が比較的まとまって分布している山岳は，早池峰山 (1,914 m)，薬師岳 (1,645 m)，五葉山 (1,351 m) 等であるが，岩手県閉伊川以北では青松葉山 (1,366 m)，蓬森 (1,175 m) に分布が知られているに過ぎない (岩手植物の会 1970；梶 1982)。

閉伊川以北における山岳の標高は，青松葉山を最高に，1,000 m を越す隆起準平原の山稜が広範囲に広がっている。筆者のうち，金子は閉伊川以南の高滝森 (1,160 m) 北斜面の標高 900 m～1,100 m 一帯にコメツガが分布していることを確認している。閉伊川以北においても，蓬森にコメツガが分布していることから，コメツガの成育に適する標高は十分あると思われる。しかし，コメツガの成育環境は露岩の多い急傾斜地であることが多く，隆起準平原が広がる北上山地の閉伊川以北では，コメツガの成育に適さない環境が広がっていると言える。このことから，閉伊川北部においてコメツガの分布を欠く山域が多い要因は，地形や地質による影響が大きいためと考えられるが，筆者らは北上山地の閉伊川北部にある害鷹森 (1,305 m) でコメツガを発見したので報告する。

1999年1月31日，害鷹森西斜面 (岩手県下閉伊郡岩泉町) の標高 1,260 m 地点でコメツガの生育が確認された。採取してきた枝条は農林水産省森林総合研究所東北支所 (現独立行政法人森林総合研究所東北支所) の杉田久志氏に，コメツガであると同定していただいた。発見されたコメツガの生育環境は，樹高約 15 m 内外のダケカンパ林内で，発見時には約 1.0 m 積雪があり，合計 3 本のコメツガの生育を確認した。うち，2 本は互いに 1 m の距離を置いて生育していたが (Fig.1)，残る 1 本はそこから 10 m ほど離れていた。樹高は 1.5–2.0 m で，上部が雪上から出ている。調査方法は，山スキー装着で林内を主に等高線方向に登行して周囲を目視する方法を取ったが，筆者 2 人の約 2 時間に亘る調査でコメツガは前述の 3 本しか発見できなかったことから，成育密度は低いものと思われる。なお，今回コメツガの分布が確認された害鷹森から最も近くにコメツガが分布する山岳は青松葉山であり，両山の山頂間距離は約 10.2 km である。ただし，筆者のうち，金子は青松葉山へ積雪期に 2 回登頂しているが，コメツガは確認できていない。両山のほぼ中間にはサクドガ森 (1,361 m) があるが，コメツガの分布は知られていない。

北上山地は伐木，火入れ，刈り取り等の人為作用を絶えず受け，現存する植生のほとんどはその攪乱影響を受けた二次植生であり，標高が 1,000 m を越える地域の現植生はダケカンパの疎林やチシマザサの密生地となっている (池田 1993)。しかし，害鷹森でもコメツガの



Fig.1. *Tsuga diversifolia* (Maxim.) Mast. at Mt. Gaitakamori, Iwate Pref. on January 31, 1999.

生育が確認されたことにより、閉伊川以北においても原植生としてコマツガがまとまった面積で生育していた可能性が示唆された。

害鷹森で現地調査を行なうきっかけを与えてくださった岩手県立博物館の関山房兵氏、コマツガの同定をしてくださった森林総合研究所東北支所の杉田久志氏に深く感謝申し上げる。

#### 引用文献

池田重人. 1993. 北上山地のアオモリトドマツ林. 森林総研東北支所たより (380): 1-4.

岩手植物の会 (編). 1970. 岩手県植物誌. p.164. 岩手植物の会, 岩手.

梶 幹男. 1982. 亜高山性針葉樹の生態地理学的研究. 東京大学農学部演習林報告 (72): 31-120.

(<sup>1</sup>〒952-1555 新潟県佐渡郡相川町大字式町目浜町 20-1 相川林業事務所; <sup>2</sup>〒020-0066 岩手県盛岡市上田 3-18-15 岩手大学自啓寮 <sup>1</sup>Aikawa Forestry Office, 20-1 Oaza-nichome-hamamachi, Aikawa-machi, Sado-gun, Niigata 952-1555, Japan; <sup>2</sup>Jikei-Ryo, Iwate University, 3-18-15 Ueda, Morioka City, Iwate 020-0066, Japan)